

尾道市×シネマ尾道コラボ企画2025vol.1

森ガキ侑大×石川慶 映画監督対談 ―地域と文化、映画の未来―

2026年2月22日(日)
14:00～15:30 (13:30受付開始)

Guest 森ガキ侑大 石川慶

会場 おのみち映画資料館

- 参加費 520円（中学生以下無料）
※参加費は、当日会場にてお支払いください。
- 定員 50名
- 予約開始 2月7日(土)正午
- 予約方法 メール予約
予約専用アドレスにメールへ必要事項を記入の上、
お申込みください。
cinema-onomichi@water.ocn.ne.jp
件名に、監督対談
本文に、名前（代表者のみ）、人数（4名迄）電話（代表者のみ）
- 企画 NPO法人シネマ尾道
- 主催 尾道市
- 問い合わせ シネマ尾道 電話0848-24-8222

森ガキ侑大（映画監督）

1983年広島市生まれ。大学卒業後、CMプロダクションに入社し、CMディレクターとして活動。17年に独立してクリエイター集団「クジラ」を創設し、以来、Softbank、JRA、資生堂など多数のCMの演出を手掛ける。17年『おじいちゃん、死んじゃったって。』にて長編映画デビュー。「江戸川乱歩×満島ひかり 算盤が恋を語る話」(18)で第56回ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞、「坂の途中の家」で日本民間放送連盟賞テレビドラマ優秀賞を受賞する。TVドラマ「時効警察はじめました」(19)、初のマンガ実写化に挑戦した『さんかく窓の外側は夜』(21)、コロナ禍の日本における人と仕事を追ったドキュメンタリー『人と仕事』(21)、『愛に乱暴』(24)、最新作の『架空の犬と嘘をつく猫』は、全国の劇場で公開中。2019年に尾道の築100年の古民家をリノベーションした一棟貸しの宿『クジラ別館 尾道』をオープンしオーナーを務める。

石川慶（映画監督）

1977年愛知県生まれ。ポーランド国立映画大学で演出を学び、2017年『愚行録』で長編映画デビュー。同作が、ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ・コンペティション部門に選出、新藤兼人賞銀賞などを受賞。『イノセント・デイズ』(WOWOWドラマ)、『蜜蜂と遠雷』、『Arc アーク』など。『ある男』では、ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ・コンペティション部門、釜山国際映画祭クロージング作品に選出され、日本アカデミー賞では、最優秀作品賞を含む最多8部門を制し話題になった。現在公開中の「遠い山なみの光」は、2025年・第78回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門に出品された。

関連企画

森ガキ侑大監督最新作
『架空の犬と嘘をつく猫』 舞台挨拶

2月21日(土)
ゲスト 森ガキ侑大監督

会場 シネマ尾道

予約不要。招待券使用不可。
(上映時間はシネマ尾道HPにてご確認ください)

